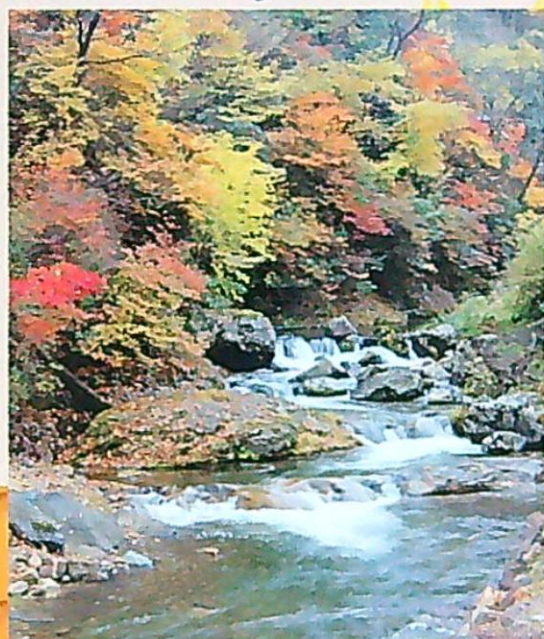




高梁川流域連盟設立50周年記念事業

「管弦樂のための高梁川」

演奏会



2003年 **12月14日** (日)

開場13:30 / 開演14:00

マービーふれあいセンター

主 催 / 高梁川流域連盟
共 催 / 真備町・真備町教育委員会

ごあいさつ



高梁川流域連盟会長

倉敷市長 中田 武志

昭和29年3月、高梁川流域の交流と文化向上を目指して発足した高梁川流域連盟が、今年、記念すべき50周年を迎えることができました。これも流域の加盟市町村をはじめ、個人・法人会員の皆様のご支援・ご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

今回、設立50周年記念事業の一つとして「管弦楽のための高梁川」演奏会を開催することとなりました。この演奏会で演奏される「管弦楽のための高梁川」は、昭和55年に故團伊玖磨氏により作曲・初演されたもので、今もかわらぬ高梁川の美しい姿がイメージされることと思います。

本日、ひと時ではございますが、私たちにとっての母なる高梁川の世界をどうぞごゆっくりご鑑賞ください。



真備町長 鎌田 頼靖

高梁川流域連盟の栄えある50周年を心からお祝い申し上げます。折りしも本町も昨年町政施行50年を迎えたところでございまして、同じ時を刻んできたことに新たな感慨を覚えた次第です。また、この度は50周年という大きな節目の記念事業の「管弦楽のための高梁川」演奏会が本町のマービーふれあいセンターで開催することになり、誠に光栄に思う所存でございます。本町は高梁川・小田川という2つの大きな川によって形づくられ、いにしえには、古代吉備大国の一角を成し、また、奈良時代の偉人「吉備真備」ゆかりの地として、豊かな自然や歴史・文化を尊重したまちづくりを進めており、高梁川流域の更なる交流の促進と文化振興を心から望んでいるものでございます。

おわりに高梁川流域連盟並びに流域全般の今後益々のご発展を祈念し、ご挨拶申し上げます。

出演者プロフィール



〈指揮〉
菊池 東

昭和23年倉敷市玉島生まれ。5歳の時よりヴァイオリンを始める。広島大学工学部卒業後上京し、東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスターetc.を経験し、昭和48年帰岡。昭和49年仲間と共に倉敷室内管弦楽団（現、倉敷管弦楽団）を創立。以来現在まで29年にわたり同楽団の常任指揮者として、交響楽・管弦楽曲を中心に、バロック音楽から映画音楽・ミュージカル・オペラと幅広いレパートリーで各地で演奏会を開催する。

現在倉敷音楽協会会長・倉敷市文化振興財団評議員。



〈倉敷管弦楽団〉

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷市文化連盟賞を受賞しました。

演奏曲はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」を初演。オペラでは、モーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J. シュトラウス「こうもり」、フンパーディング「ヘンゼルとグレーテル」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。

岡山県内で最も長い歴史と実力を誇るオーケストラとして、各地で演奏会を開催。今年は計8回の演奏会を行い、高い評価を得ています。

プログラム

1 シルクロード

作曲 喜多郎

編曲 藤田幻播

佐藤正俊

2 管弦楽のための高梁川

作曲 團伊玖磨

—— 休 憩 ——

♪♪♪ 楽器紹介 ♪♪♪

(美しい音色を生み出す数々の楽器を楽しく、
わかりやすく解説します。)

3 バレエ組曲 くるみ割り人形

作曲 チャイコフスキー

I 小さな序曲

II 性格的な舞曲

a 行進曲

b こんべい糖の精の踊り

c ロシアの踊り (トレパーク)

d アラビアの踊り

e 中国の踊り

f あし笛の踊り

III 花のワルツ

指揮 菊池 東

管弦楽 倉敷管弦楽団

曲目紹介

シルクロード

喜多郎は、1970年代初頭、プログレッシヴ・ロック・バンド、ファー・イースト・ファミリー・バンドに参加し、国内はもとより欧米各国でも高い評価を獲得する。グループ解散後の78年、「天界」でソロ・デビュー。

本日、演奏される「シルクロード」は、80年に音楽を担当したドキュメンタリー番組「シルクロード」のテーマソングとして作曲され、その感動的なテーマ曲とも相まって番組は評判を呼び、喜多郎の名は一気に日本中に知れわたる。

喜多郎は、「自然界からインスピレーションを受ける。僕にとって、ある曲は雲であり、またある曲は水である。」と語る。

悠久として流れる高梁川に通じるかもしれない……。

管弦楽のための高梁川

曲は二つの楽章で構成されています。

第一楽章は、せせらぎと上流の民謡で始まり、「流れ、歌、踊り」の副題を持っています。備中松山踊りの曲が、さまざまに形を変えながらあられ、流れは次第に大きくなって、海へ出る。

第二楽章は、「備中子守うた」による変奏を伴う幻想曲です。この旋律は、「中国地方の子守歌」として、全国に知られていますが、この第二楽章では、本来の旋律をもとに流域に住む人たちの心と、川を中心に現代に発展する力がイメージされています。

※昭和54年8月に第一楽章、12月に第二楽章の作曲が完了し、翌55年5月31日に故團伊玖磨氏本人の指揮により初演された。

バレエ組曲 くるみ割り人形

「くるみ割り人形」は、チャイコフスキーの“三大バレエ音楽”の最後をかざるものです。今回の演奏は、チャイコフスキー自身が演奏会用に編んだ8曲の組曲として構成されています。

<小さな序曲>で幕が開き、クリスマスの夜のプレゼント「くるみ割り人形」にまつわる夢の場面が展開します。

次は魔法の城・おかしな国の場面で、特色ある舞曲が数々演奏され、有名なくわのワルツへと続きます。

管弦楽のための「高梁川」作曲について

團 伊 玖 磨

中国山脈に源を発して、新見・高梁・総社・倉敷を経て水島灘へ注ぐ高梁川——流域の諸都市の母なる川は、今日も美しく流れている。川は歴史と人々の生活を映しながら、ながい間、流域の人たちの生活の支えもしてきた。川はあるときはやさしく、ときには洪水により人々をおびやかせるもした。しかし、そこに住む人々は高梁川を意識しながら生きてきたと思う。母なる川、それを憶うとき、洪水でさえもが大きな教訓であったのではなかろうか。

倉敷市自主文化事業協会・高梁川流域連盟から作曲依頼を受けて、流域を歩いたとき、まずわたしをとらえたものは、この歴史の深さと川の気品と美しさであった。大きな川は他にもたくさんあるだろう。しかしこれほどまでに美しく、そして人々と密接な関係を持ちつづけたものは、高梁川をおいて他にないと思う。

.....

わたし自身感動をもって書きあげたこの曲が、多くの方々の胸に残り、愛されることを祈ってやまない。

〔昭和55年5月の初演にあたり〕

高梁川流域連盟機関誌「高梁川」第37号(昭和55年9月30日発行)より

高梁川流域連盟

昭和29年、提唱者である大原總一郎氏を名誉会長として設立。会員相互の親睦理解を深め、流域全般の文化向上に寄与するために各種の事業を行っている。

機関誌「高梁川」の発行、中学・高校リレー大会、流域高校音楽会、高校生絵画展や写真展等の文化活動や流域クリーン一斉行動を実施している。

会長は倉敷市長。流域の6市17町1村が正会員として加盟しているほか、20法人・34名の個人が特別会員として連盟の活動を支援している。

○事務局では、本連盟の活動趣旨にご賛同の皆様の加盟をお待ちしております。

特別会員(法人・個人)には、機関誌「高梁川」を発行ごとに送らせていただいております。

会費は、個人：1口年3000円以上

法人：1口年5000円以上

お問い合わせ

〒710-8565

倉敷市西中新田640番地

倉敷市教育委員会 生涯学習課内

高梁川流域連盟事務局

TEL 086-426-3845 FAX 086-421-6018